


平成30 年 11 月 7 日

総合情報基盤センター
 所長 下川 俊彦 殿

2019年度 総合情報基盤センター研究開発申請書

私は、2019年度総合情報基盤センター研究開発における研究開発者として、下記のとおり申請いたします。

記

研究開発代表者		
氏 名	所 属	職 名
Bovee, Nicholas 	語学教育研究センター	准教授
内線番号/携帯番号	電子メールアドレス	
5872/090-6422-3666	bovee@mail.kyusan-u.ac.jp	

研究開発分担者または研究開発協力者				
No.	氏 名	所 属	職名または学籍番号	研究開発者区分 (○をつけて下さい。)
1	Witkin, Neil	語学教育研究センター	常勤講師	<input checked="" type="radio"/> 分担者 ・ <input type="radio"/> 協力者
2	Kassim, Samar	語学教育研究センター	常勤講師	<input checked="" type="radio"/> 分担者 ・ <input type="radio"/> 協力者
3	Stone, Adam	語学教育研究センター	常勤講師	<input checked="" type="radio"/> 分担者 ・ <input type="radio"/> 協力者
4				<input type="radio"/> 分担者 ・ <input type="radio"/> 協力者
5				<input type="radio"/> 分担者 ・ <input type="radio"/> 協力者

研究開発期間 (実際の研究開発期間 をご記入ください。)	2019年 4 月 1日 ~ 2020年 3月 31日			
研究開発課題名	Virtual Reality Technology as Preparation for Overseas Language Experiences			
使用計算機名 (○をつけて下さい。)	Windows ^{サーバ} ・Linux ^{サーバ} ・Windows ^{パソコン} ・Linux ^{パソコン} ・Macintosh ^{パソコン} その他()			
研究開発経費	申請予算総額	申 請 予 算 総 額 の 内 訳		
		消耗品費	一般旅費	諸会費
	514千円	302千円	千円	172千円
		購読費	通信費	諸手数料
	40千円	0千円	0千円	

研究開発課題の説明

研究テーマ：

学生、教員を対象に海外語学留学に向けての準備の仮想現実（VR）を用いた語学理解の効果について。

手段：

英語圏の国への旅行を考えているおよび Four Skills や Job Training を受講している学生に対して、一体型 VR ヘッドセット「Oculus Quest（オキュラス・クエスト）」と商業 VR のソフトウェアを使用する。

実体験のように感じる VR テクノロジーを通して、学生に英語を母国語とする人々とコミュニケーションをとり、海外の街並みや職場、学校生活を体験するといった、英語で共同作業をさせる機会を設ける。

Four Skills、ジョブトレーニング、またその他のキャリアイングリッシュプログラムコースを選択している学生と九州産業大学教員は、この研究に参加することが期待されます。そうすれば、この VR による介入を各学期に 2 回行うことができるようになる。

この、教員と学生の VR に対する理解度や意見は、フォーカスグループ、質的観察、インタビュー、および調査などによって定期的に測定する。

研究開発課題の意義と予測される結果

本研究の目的の一つは、最先端の VR テクノロジーがどのようにして語学教育研究センターの英語プログラムに融合できるかを判断し、調査することです。

本研究は、Four Skills や Domestic Job Training、Overseas Job Training といった科目や、留学などに対する学生のモチベーションや授業参加、授業の準備等の育成に役立ちます。

本研究は、ますますデジタルで連結され、複合現実化していく社会に立ち向かうため、教育者と学生の両方に役立ちます。このようにして本研究は、九州産業大学の学生に現代の就職戦線において高く要求される学術的かつ実践的なスキルを教えるという教育の目標と同じ目的を目指しています。

この VR テクノロジーを利用した言語学習の研究はあまり進んでいないため、その分野において最前線に立つ貴重な機会を与えてくれます。本研究の成果は学術的ジャーナルに出版し、学会でも発表する予定です。